

浄心寺だより

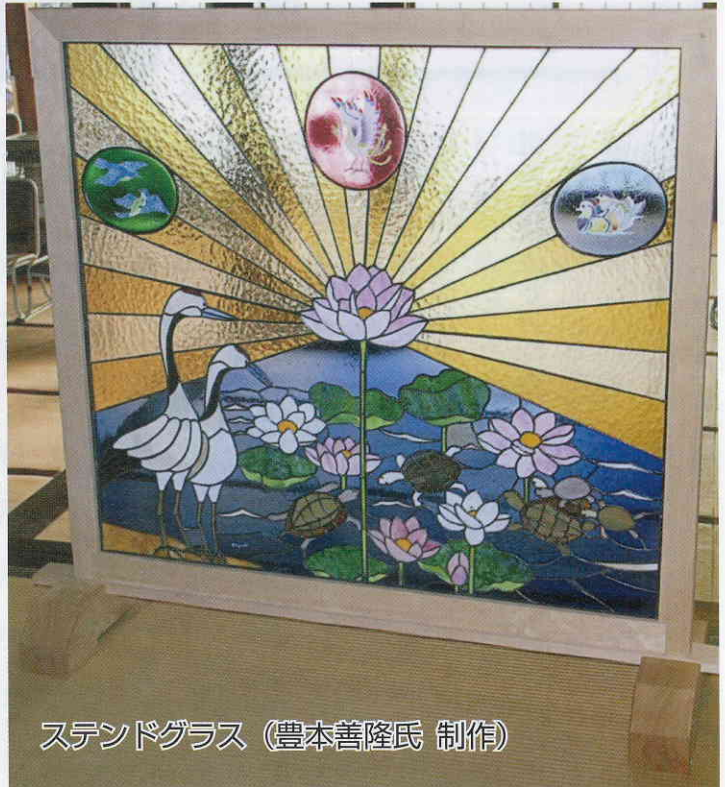
発行
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081
笠岡市笠岡2065
電話(0865)62-2623
FAX(0865)62-2595
振替01260-9-13760



阿弥陀堂 完成予想図

現在の釈迦堂を阿弥陀堂として新築することになりました。
堂内に設置するステンドグラスがすでに完成し、本堂内に仮設展示してあります。
どうぞご自由にご覧ください。



ステンドグラス (豊本善隆氏 制作)

「み法を味わって」(二)

此岸から彼岸へ

此岸(現在の状態)から、彼岸(最も望ましい状態)へ人間は向上発展しなくてはなりません。しかし人間の進歩を邪魔するものが自分のまわりにも、自分の中にもあるのです。だから彼の岸へ行きたくても行けずにウロウロしている人もあるし、彼の岸へ行きたいとも思わない人さえいるのです。

そのような私のために、あみださまが「なもあみだぶつ」という船をつくって渡してくださいのです。大きなしあわせのために、よりよくなるために今こそ真実の教え、念仏の教えを聞きましょう。

大願海のうちに

煩惱のなみこそなかりけれ

弘誓のふねにのりぬれば

大悲の風にまかせたり

(帖外和讃)

お彼岸には仏法の聴聞こそ大切です。さそいあわせお寺に参りましょう。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

三月十九日(水) 十三時半

春季 永代経・彼岸会 法要

ご法話 庄原市・西教寺 藤井義英師

報恩講法要つとまる

快晴の十二月七日、午後一時半より当山の報恩講法要が勤まりました。報恩講とは親鸞聖人の御命日をご縁に勤める法要です。今年は例年になく多くのお参りがありました。備中里組の法中も出勤され、一同で正信偈をお勤めしました。その後、副住職が親鸞聖人の伝記『御伝鈔』のうち、臨終の様子が描かれた最後の二段を拝読しました。

ご講師は福山市内海町の善正寺住職、那須英信師でした。

お仏壇にお供えするお仏飯の数には正式にはいくつでしょう？実は、阿弥陀如来の前には二つお供えし

を退任することを表明しました。

退任式と継職慶讃法要は平成二十八年三月二十七日に挙行される予定です。

この慶事の遂行にあたり門信徒総代と門信徒会事務局役員、および仏婦代表からなる「浄心寺住職継職慶讃法要実行委員会」が結成され左記の記念事業を行うことが議決されました。

- ① 山門脇の小袖門の修復
- ② 鐘樓の屋根瓦葺き替え

ます。悩めるわたしたちを救いたいと、多くの願いをたてて阿弥陀如来となられた報身と、その如来がわたしたちに分かりやすいように、人間の姿としてお釈迦さまとなつて現れてくださった応身との二つにお供えするといわれています。一方で、本来阿弥陀如来はすがたかたちをもたず、廣大無辺、不可称、不可説、不可思議のいのちの世界を表しており、それは法身と呼ばれます。こちらこそ、本来わたしたちが手を合わせるべき対象なのです。

親鸞聖人は正信偈の前文に、「仏恩の深遠なるを信知して」と書かれています。遠く深いいのちの世界に気づき、それに感謝しながら日暮らしをしていきたいものです。

③ 本堂、巻障子の新調

④ 阿弥陀堂新築

の四事業です。

この内①、②、③の経費は門信徒の皆さんのご寄付をお願いしなくてはなりません。五月に開かれます門信徒会総会においてお諮りし、その後、募財にあたっての趣意書をお手元にお届けする予定です。

なお、慶讃法要に関わる経費は門信徒会特別会計から拠出される

除夜会・修正会

十二月三十一日



予定です。

また阿弥陀堂新築につきましては浄心寺会計（これまで頂いていた院号などの各種ご懇志）を充當いたします。

この阿弥陀堂の一面に納骨壇を設けご希望の方のお遺骨をお預かりする予定にしています。

何とぞ門信徒みなさまのご理解、ご賛同の程よろしくお願い申し上げます。

住職が退任を表明

◎平成二十八年三月に
退任式と継職慶讃法要を
挙行

◎阿弥陀堂新築などの
記念事業や稚児行列などを
予定

昨年十月に開かれた浄心寺総代会の席で雅行住職が第十八世住職

平成26年度 行事計画

◎花まつり	4月29日(火) 午前9時	白印茶会
◎総 会	5月17日(土) 11時	
◎降 誕 会 仏教讃歌と上方落語	13時30分	女声コーラス同好会 笑福亭生窩 師・笑福亭生寿 師
◎研修旅行	6月1日(日)	松江市市街と大根島散策
◎法物虫ぼし法座	7月17日(木) 13時30分	東広島市・興学寺 覚王地昭見 師
◎サマースクール	7月22日(火)・23日(水)	教区内スタッフ3、4名
◎盂蘭盆会	8月15日(金) 10時・14時	住職、副住職
◎秋季彼岸会、永代経	9月22日(月) 13時30分	福山市・光行寺 刈屋光影 師
◎地区委員会	12月6日(土) 11時	
◎報 恩 講	13時30分	福山市・光円寺 平山智正 師
◎除夜会、修正会	12月31日(水)・元旦	
◎新春のつどい	平成27年1月	
◎春季彼岸会	平成27年3月18日(水)	熊本県・明導寺 藤岡孝教 師
あさのおつとめ	通年毎朝6時	
◇やさしい仏教入門 解説：津田明雅 副住職	【26】4/10(木) 【27】6/6(金) 【28】8/24(日) 【29】10/16(木) 【30】12/7(日) 毎回 19時30分	
◇念仏のつどい	毎月15日 13時30分より	
※「浄心寺だより」発刊	107号(5月) 108号(7月) 109号(11月) 110号(3月)	
仏教婦人会	総会 例会 各種研修会 研修旅行 料理教室 福祉施設慰問 清掃奉仕など 4/20(日)ダーナバザー 5/18(日)初参式	
文化箏同好会	毎月第1水曜日 19時30分	指導：平田澄子 先生
女声コーラス同好会	毎月第2土曜日 19時30分	指導：平田澄子 先生
本山関係	9月 千鳥が淵全戦没者追悼法要 7月 全国真宗青年のつどい など各種研修会、記念法要 など	
備後教区	各種研修会 定例法座(毎月11日) 報恩講(11/30) 総代研修会 平和のつどい など	
備中里組	同朋研修協議会 第5期連続研修会 4/26 キッズサンガ 総代研修会	

仏婦コーナー

アツカの園

教区清掃奉仕

十二月十一日(水)、本願寺備後教堂(福山市東町)教務所の清掃奉仕に、当寺から二名参加しました。清掃後お聴聞させていただきました。

備後教区仏婦連盟

常任委員来訪

十一月五日(火)、「仏婦連盟」だよりに掲載の為、常任委員十三名が取材に来られました。

本堂にて住職が浄心寺沿革を説明、藤井悦子会長が仏婦活動状況をスライドとともに紹介しました。

仏具おみがき

十一月七日(木)、報恩講をひかえ仏具のお磨き奉仕をしました。二十三名は和気あいあいに、ひとつひとつ心を込め丁寧に磨きました。一年の煤を取り除くと輝きが復活しました。



お斎の調製



十二月七日(土)、浄土真宗最大行事の報恩講にてお斎の調製をしました。参加者九十名分の調理と盛り付け。早朝より会員が協力しました。

《お知らせ》

第15回

ダーナバザー
開催!!

◎日時

4月20日(日)
10時30分頃

◎場所

浄心寺にて

ご近所お誘い
あわせのうえ
お越し下さい!!
お待ちしております。

初参式のご案内

五月十八日(日)

午前十時から

浄心寺本堂にて



浄心寺クッキング
第十五回 料理教室

十一月十二日(火)参加十五名。今回はおせちにもなる「レンコン・ミンチと餅米の中華風蒸し物」「鶏団子の照煮」「紅玉きんとん」等八品。枅平先生のご指導で楽しく調理試食をしました。

楽しくておいしい浄心寺クッキングに、皆様のご参加お待ちしております!

門信徒の広場

浜中地区

柚木瑞恵さん

地区委員さん登場



里庄は里見地区と新庄地区を併せた地名で旧浅口郡四町の中でどこも合併せず、唯一里庄町だけが独立した町です。

里庄町内には現在六〇戸余の門徒さんがおられますが、柚木さんは、そのうち浜中地区の十四戸と以前住んでおられた笠岡市の伏越地区の四戸も合わせて十九戸のお世話をしてくださっています。

この浜中地区は閑静なたたずまいの住宅団地です。中央に国道二号線バイパスに通じる幹線道路が走り、近年少し騒々しくなってきました。

降誕会寄席に

笑福亭生高師 が来演
笑福亭生寿師



平成21年より降誕会寄席として六代目笑福亭松喬師匠による上方落語会を開催していましたが、昨年の来演後ほどなく七月に肝臓ガンのため逝去されました。これまで軽妙洒落な話芸を聞かせて頂いていましたが大変残念なことでした。

松喬師匠に引き継いで今年は弟子である笑福亭生喬さんと孫弟子である笑福亭生寿さんの二名の来演が決まりました。どうぞ、お楽しみに。

平成二十六年度

新春の集い



一月二十一日(火) 正午より聚園和室にて第二十三回「新春の集い」に五十六人が参加して開催致しました。

長安圭一さんの司会ではじめに全員で「讃仏偈」のお勤めの後、内海義郎門信徒会会長の互礼と開会の挨拶、ご住職のご挨拶は第十九世住職の継職法要についてのお話がありました。

そして恒例になった文化等同好会の十二人による新春にふさわし

い「かぞえうた」と「お江戸日本橋」等の合奏を聞き藤井悦子仏婦会長の乾杯の音頭で会食に入りました。



賑やかに座が盛り上がったところで昨年に引き続き内海会長が謡曲の「熊野」を、又戸田眞左子前仏婦会長が「狸々」を朗々と見事に謡いあげ大きな拍手が湧きました。次々と懇談しながらのカラオケや日本舞踊、仏婦の有志の方々による合唱や踊り等今年も芸達者な人達により宴が大変賑やかに手拍子や笑いが絶えない楽しい一時を過ごしました。

福引では皆さん豪華な景品を手にして、最後に全員で「ボケない小唄」を大合唱して散会しました。

還 浄 (げんじょう)

伊上 悠子	11	1	62	浅口市
岩崎 トキ	11	8	8	美の浜
瀬戸口 薫	11	15	15	浅口市
栗原 芳恵	11	22	94	井原市
三宅美代子	11	27	90	殿川
中垣 勝則	11	29	50	里庄町
熊岡 佳子	12	11	83	里庄町
野口 君子	12	16	70	旭が丘
住谷 秋子	12	16	91	入江西
戸川須磨子	12	17	96	里庄町
佐藤 昭二	12	19	87	東本町
亀岡 徹	12	20	75	小坂東
平田 照和	12	27	74	金浦南
片岡登喜子	12	30	102	福山市
大黒司 茂	12	31	90	一番町
宮島 ツル	1	4	95	西本町
長安志恵子	1	5	81	横 島
藤井千代子	1	5	94	生江浜
三田理恵子	1	10	71	横 島
入江日出夫	1	11	67	大 宣
向 富雄	1	25	79	富 岡
佃 利正	1	26	62	浅口市
木下シマエ	1	28	94	旭が丘
藤井 和之	1	31	85	東大戸
藤井登志子	1	31	73	大 宣
鈴木 祥子	2	31	73	白石島
末本 芳朗	2	10	94	八幡平
生江 節男	2	13	68	西本町
向迫 忠男	2	15	78	福山市

浄心寺の法宝物

その5

和朝高僧連座像

室町時代初期
138×36.8cm



浄土真宗の法脈を絵画化したもので、下方に六名の侍臣を従える聖徳太子を配し、中央下に源空を起点に

さらにもう一つの考え方は、私たちが深く自分を見つめれば見つ上方に向かって十二人の先徳を交互に振り分けている。当寺ゆかりの明光や信光、良誓ら備後一帯で活躍した高僧の名が連なっている。この地方の布教の広がりを示す貴重な史料。全体に痛みと退色

めるほど、罪深いものであって、自分の本性はまったく罪業煩惱のかたまりである、という思想です。親鸞聖人の言葉を借りて言えば「一切群生海、無始よりこのかた、ないし今日今時にいたるまで、穢悪汚染にして清浄の心なし、虚偽諂偽にして真実の心なし」という内観です。それではどうして私たちが煩惱を断ち切つて仏になることができるのでしょうか。ここに、自分の力ではとうてい悟りを開くことのできない私たちは、阿弥陀仏の願力(他力)に救われて、極楽浄土に生まれて悟りを開くという教えが説かれたのです。これが浄土教ですが、悟りを開いて仏に成ることを最終の目標に進み、銘文や札銘が判読しがたい。当寺の法物の中でも一級品の一つとされている。

なお、この画軸は香煙などで煤けて画像や讀文などほとんど識別できない状態になっています。

編集後記

境内も、冬の清冽な空気がみなぎり春の足音が待ち遠しい今日の頃となりました。

来る三月十九日に勤められる春季永代経、彼岸会のご案内、住職継職法要(平成二十八年三月予定)及び記念事業の実施方針、その準備と取り組みの状況をお知らせする「浄心寺だより第一〇六号」をお届けいたします。

浄土教は阿弥陀如来を中心とし、すべて生きとし生けるものを救わずにはおかぬという仏の、大慈悲心から生まれた教えですから、いかなる悪人も悪人も救われていくのです。この浄土門を最も純粋な姿で、私たちに示してくださったのが親鸞聖人です。自己の愚悪に徹して、本願他力の救いをただ、ほればれと仰がれた聖人の他力の教えは、おのずから、我執から救われていく仏教本来の面目が輝いていることを見逃してはなりません。

浄土真宗



教えとそのあゆみ

1、仏教とは

どんな教えでしょうか(9)

聖道門

前号で心を清くするのが仏教だといいましたが、心の本性について、仏教では大別して二つの見方があります。一つは、私たちの心は日夜あさましい我執煩惱に覆われているけれども、その本性は清浄であつて、仏となりうる力(仏性)をそなえているとみるのです。このような考え方は、人間の平等

と尊厳性に目覚めさせる、たいせつな思想ですが、この立場にたつて、自分の心中にある仏性を磨き出すために真剣に努力しこの世で聖者になろうとする教えを聖道門(聖道教)とよびます。自分の努力精進によって我執煩惱を断ち切つてゆこうとするのですから、その道は大へんけわしいので、難行道とも呼ばれています。真言宗・天台宗・あるいは禅宗などはこの聖道門に属します。

浄土門

◎浄心寺ホームページ <http://joshinji.suki-ari.net/>